

決算説明会資料 平成19年3月期

開催日：2007年5月21日（月曜日）

証券コード：3753

株式会社フライトシステムコンサルティング



平成19年3月期 業績概況

連結業績ハイライト（通期）



連結経営成績

（単位：百万円）

決算期	平成18年3月期	平成19年3月期
売上高	1,843	3,071
メディアソリューション	1,280	2,444
システムインテグレーション	562	627
営業利益	19	△57
経常利益	21	△96
当期純利益	8	△176

※ 平成18年3月期実績につきましては、子会社化したしました3社の株式取得が1月6日のため、平成18年1月-3月の実績を算入した数値です。

連結業績ハイライト（下期の状況）



連結経営成績

（単位：百万円）

決算期	平成19年3月期 上半期	平成19年3月期 下半期
売上高	1,146	1,925
メディアソリューション	955	1,489
システムインテグレーション	191	436
営業利益	△195	138
経常利益	△217	121
当期純利益	△287	111

当グループは売上が下期に偏重する傾向がありますが、それも差し引いても下期は十分に利益の出る体制になりました。

連結業績概況

- **子会社3社が参画した実質の第1期であり、連結で約31億円の売上高となり、前期から大きく伸長しました。**
- **上半期に特損を出しましたが、下期から順調に各事業が立ち上がってきており、連結グループ結成の体制が出来てきました。**
- **上期中に課題を出し切っており、下期以降は収益の出る体質になりました。**

業績概況 ～メディアソリューション事業～



- 従来からのデジタル放送分野での売上の他、前期から引き続き、インターネットサービス事業者へ当社のノウハウを適用した商談が拡大！
- 今期から取り組み始めたシステムインテグレーション事業における e-Japan 関連ビジネスに付随した売上が拡大。デジタル放送にてサーバを止めない技術・製品として導入が進んでいる自社製品、Total Cluster を中心に、メディアソリューション事業のノウハウを e-Japan 関連のお客様に提供する商談が立ち上がりました。

- **山下電子設計が永年に渡り研究してきた JPEG2000 を活用したソリューションの導入が始まり、テレビ局への導入実績も出ました。また、エレテックスと組んで大手メーカー向けにOEM製品を開発するなど、成果が出ました。**
- **エレテックスの映像伝送技術がアジア・ドーハ大会でも活用され、映像伝送における展開に弾みがつきました。**
- **保守事業に関して、廃業した放送機器保守会社の事業を平成18年12月から継承した事により、事業規模が広がりました。**

- **e-Japan事業が確実に成長！**


- システムインテグレーション事業において本年度より新規事業として本格的に取り組みを開始したe-Japan推進プロジェクト(地方自治体の電子政府化関連ビジネス)が順調に立ち上がってきており、千代田区様や宮城県庁様をはじめとする複数の自治体から受注をいただき、事業が立ち上がりました。
- 永年に渡るオブジェクト指向開発の粋を集め、地銀関連で大型の開発案件が立ち上がりました。

フライトグループとは

事業セグメント


当社グループは、事業セグメントとして以下の2つに分類しています。

メディアソリューション事業

 株式会社フライトシステム
コンサルティング

映像・音楽等のデジタルコンテンツの管理や配信に関するコンサルティング、システム設計、開発、導入、保守

システムインテグレーション事業

 株式会社フライトシステム
コンサルティング

官公庁様および自治体様向けのコンサルティング、システム設計、開発、導入、保守

一般企業様向けオープン系システムによる高可用性システムの受託開発

 株式会社山下電子設計

 エレテックス株式会社

放送機器等の製造、販売

株式会社ワイ・イー・シー・リサーチ
放送機器の修理、保守

2007年6月末
経営統合
YEMエレテックス (仮称)
誕生!

会社・事業所 マップ



平成19年3月期 活動レビュー

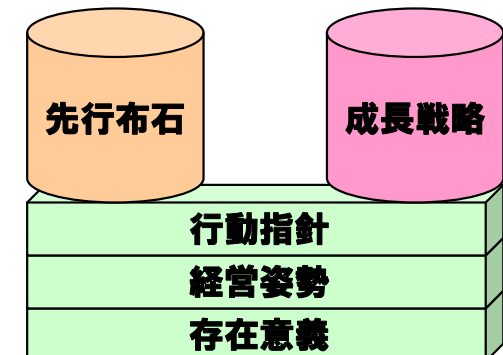
中長期にわたり継続的成長を実現するために

戦略的な先行布石



成長戦略の実行

今期は子会社3社を入れたグループ経営を実質的に開始する年ということになります。私たちは、これを「第二の創業のスタートの年」と位置づけ、グループとしての土台作りを強力に推進し、戦略的な先行布石を打ち、成長戦略を実行していきます。

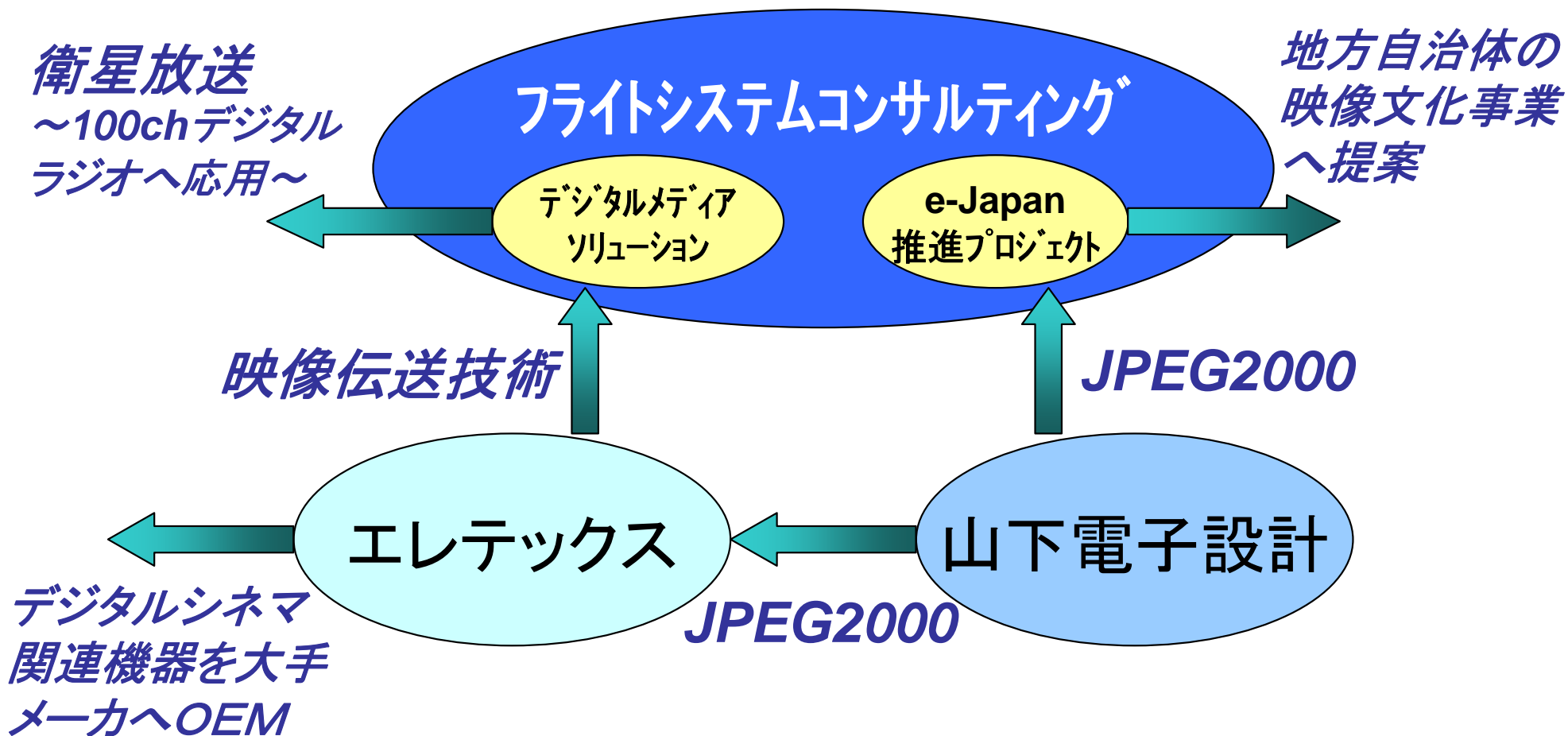


戦略的な先行布石 ～グループ協業～



顧客ニーズに応えるための
グループ体制の強化

⇒ グループ協業



戦略的な先行布石 ～共同マーケティング～

FLIGHT

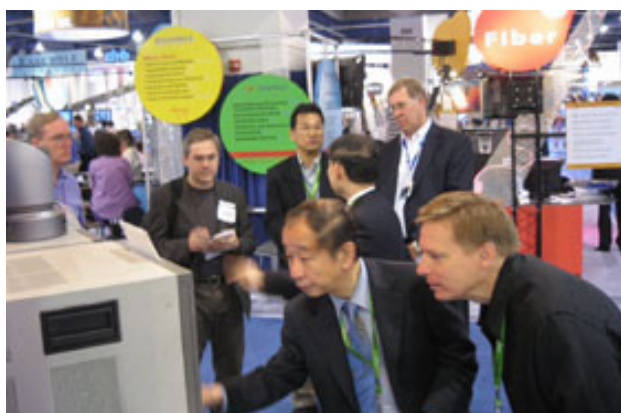
世界最大の放送／映像機器の
祭典 NAB 2006(ラスベガス)への
グループ共同出展



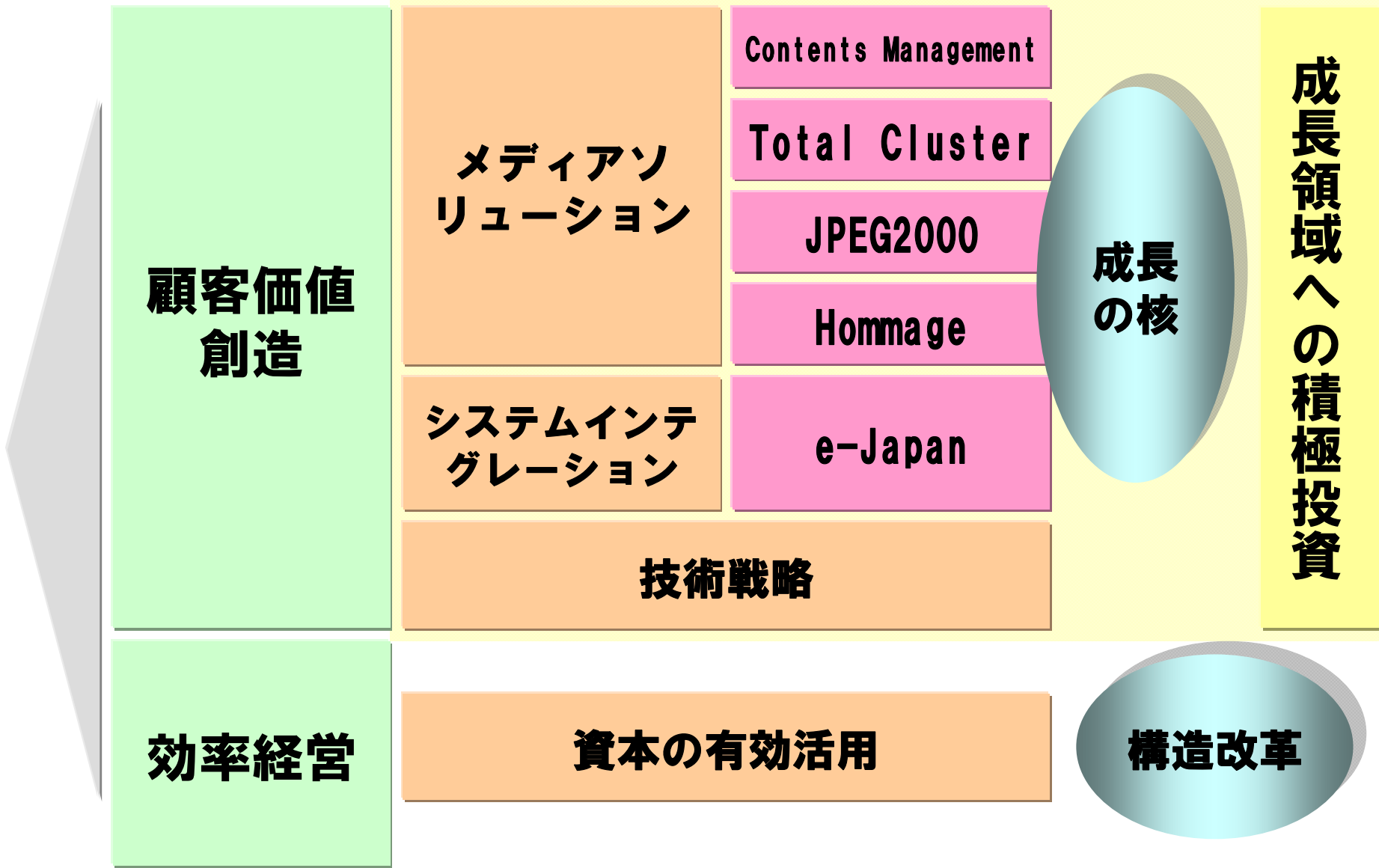
国際放送機器展
InterBEE 2006(幕張)への
グループ共同出展



グループ総力を挙げた
マーケティング活動



売上と利益の拡大

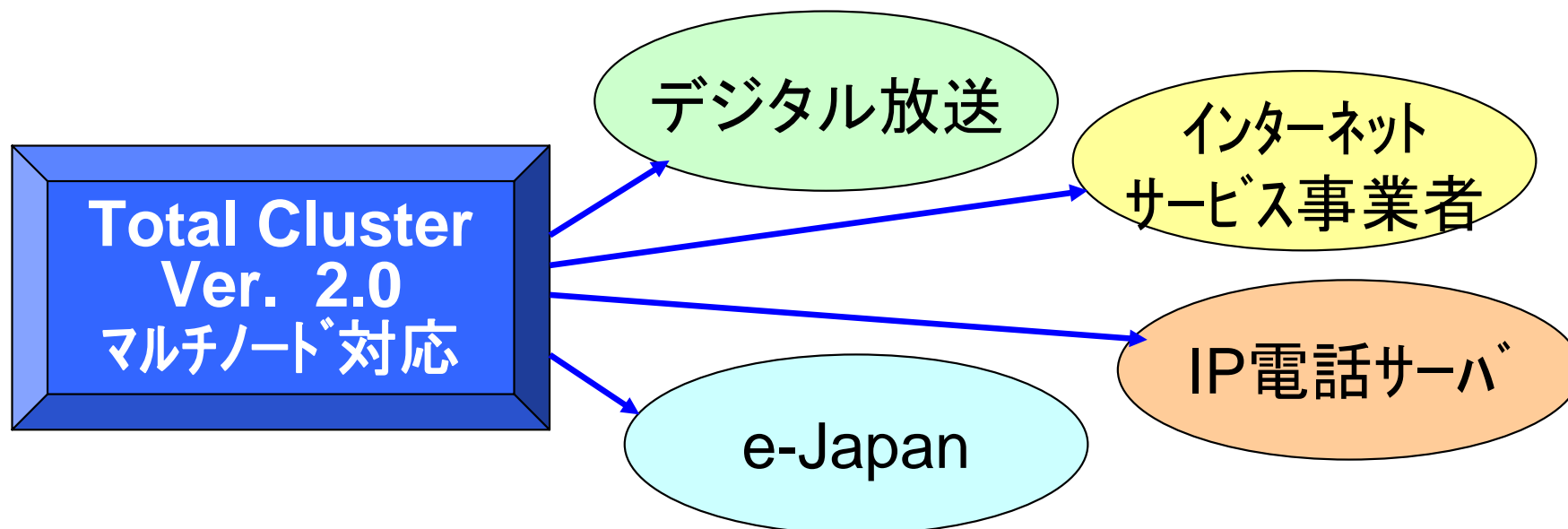


成長戦略の実行

～Total Cluster の販売推進～



- 2001年よりサーバを止めない技術を核に展開してきた Total Cluster。
- 2006年8月より新しいバージョンを出荷
- デジタル放送からインターネットサービス事業者のサーバ、IP電話サーバ、そして e-Japan のシステムまで、サーバを止めたくない用途に活用されました。



成長戦略の実行

～JPEG2000の市場への訴求、啓蒙活動～



フライトグループが永年に渡って培ってきた次世代の映像圧縮技術 JPEG2000 について、NAB及びInterBEEへの出展を契機に多数のお客様と実証実験を実施。実用的である事が立証！

アメリカで種々の映像
伝送実験を実施：

ハリウッド(ロサンゼルス)



ブロードウェイ(ニューヨーク)

シリコンバレー

(サンフランシスコ)



ハリウッド(ロサンゼルス)



成長戦略の実行

～e-Japan推進プロジェクトの遂行～



Total Clusterやオブジェクト指向開発技術など、今までメディアビジネスで培ったノウハウを応用できる領域として自治体ビジネス分野に参入します。お客様の期待に応えるシステムの開発を進め、メディアビジネスと連携しながら成長していきます。

千代田区役所様：

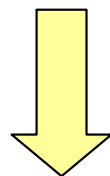
「統合事務管理システム」を受注！

宮城県様：

「工事管理システムの設計構築業務」を受注！

- **放送機器の保守を行っている株式会社ワイ・イー・シー・リサーチは、昨年12月に競合他社より一部の保守事業を譲り受け、10名ほどの要員を増やし、併せて事業領域の拡大を果たしました。**
- **今期は譲り受けた事業の引継ぎコストなどにより直接的な収益貢献はありませんが、ソニー(株)関連の放送機器の保守に関しては関東圏では大手の一角となりました。**

- 100%子会社3社を迎えた実質第1期。
- 上期はグループ協業の推進準備や特別損失の計上等で数字が低迷しましたが、下期からは収益体制が確立。
- 戦略的な先行布石と成長戦略を予定通りに実施。
- 保守事業子会社（ワイ・イー・シー・リサーチ）が事業規模拡大。



次年度の飛躍へ向けた準備が
整いました！

今後の展開について

平成20年3月期 連結業績予定

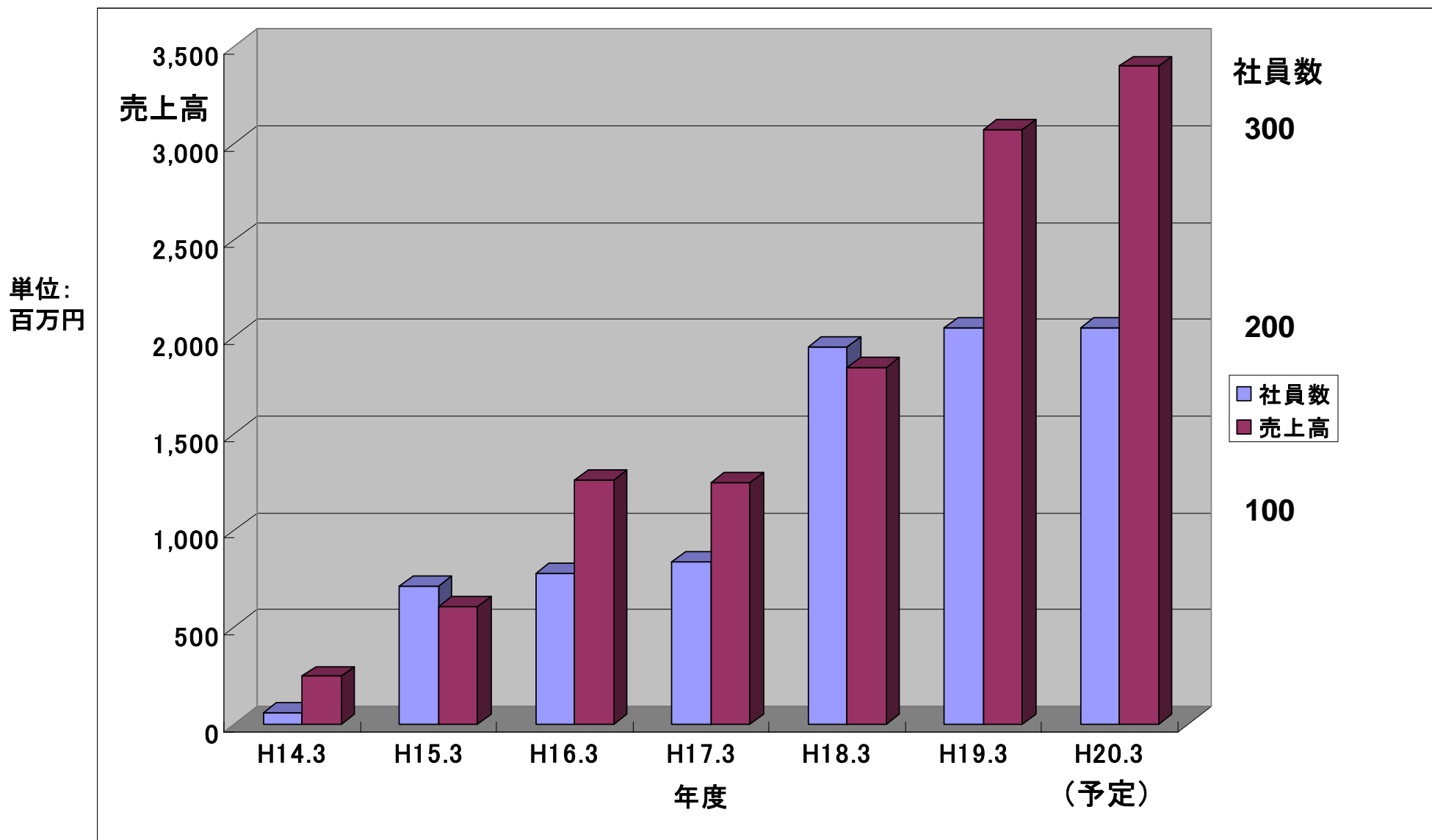


(単位:百万円)

	平成19年3月期 (実績)	平成20年3月期 (計画)	
		金額	前期比
売上高	3,071	3,400	329
営業利益	△57	70	127
経常利益	△96	40	136
当期純利益	△176	5	181

業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は予想と異なる場合があります。

売上高と社員数の変遷



組織のフラット化



事業スピード、顧客対応スピードの大幅な向上を目指し、グループ全体の組織をフラット化しシンプルにします！

フライトシステムコンサルティング

従来、デジタルメディア向けコンサルティングとe-Japan向けコンサルティングが組織が別れていましたが、1つの統合コンサルティング組織とし、コンサルティングノウハウの共有を図ります。

コンサルティング事業部

メディアコンサルティンググループ
e-Japanコンサルティンググループ
テクニカルチーム

SI事業部

山下電子設計 + エレテックス

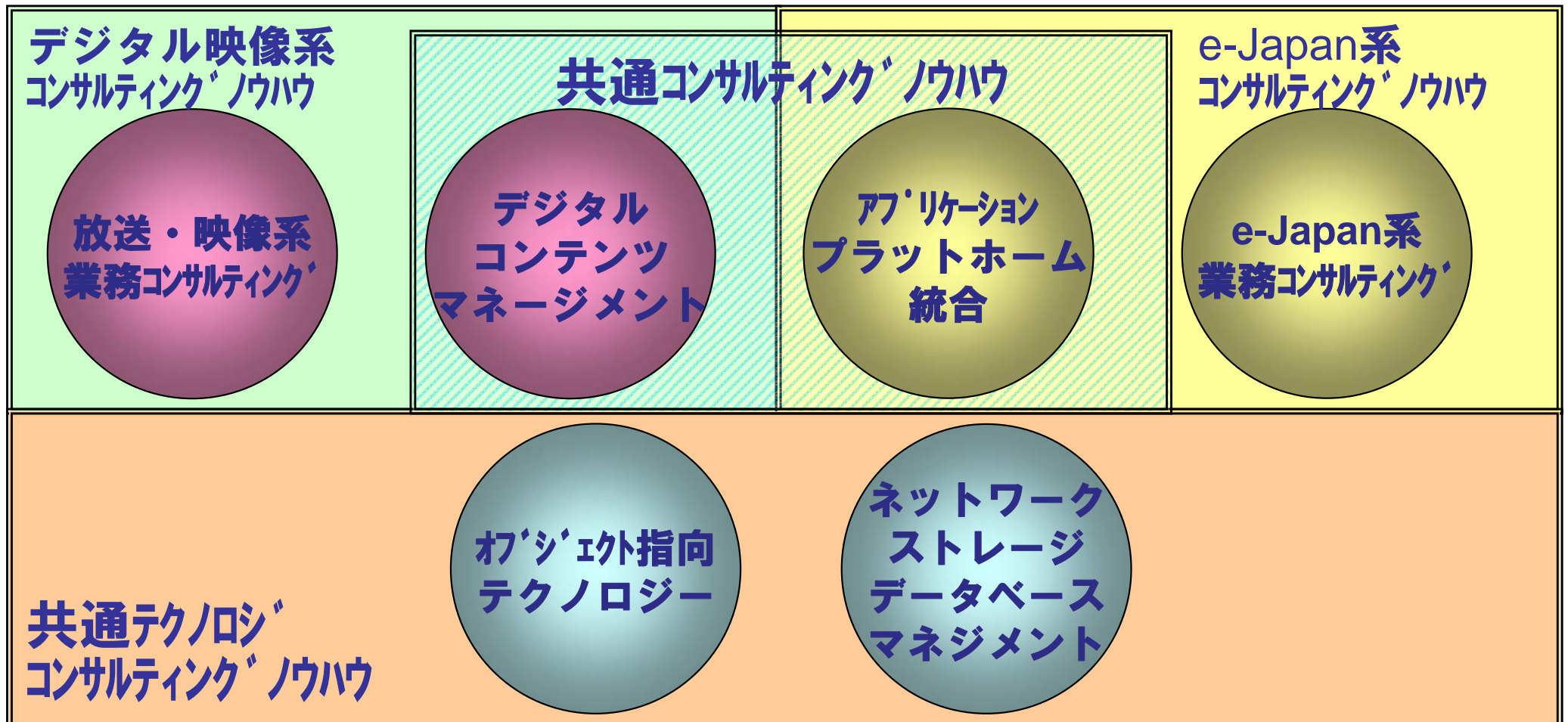


経営統合(合併)して
設計～製造～営業を
効率よく一元化

コンサルティングノウハウの共有



- メディア系、e-Japan系、テクニカル系を組織統合してノウハウ共有
- 対応可能な業種の領域が大きく拡大！



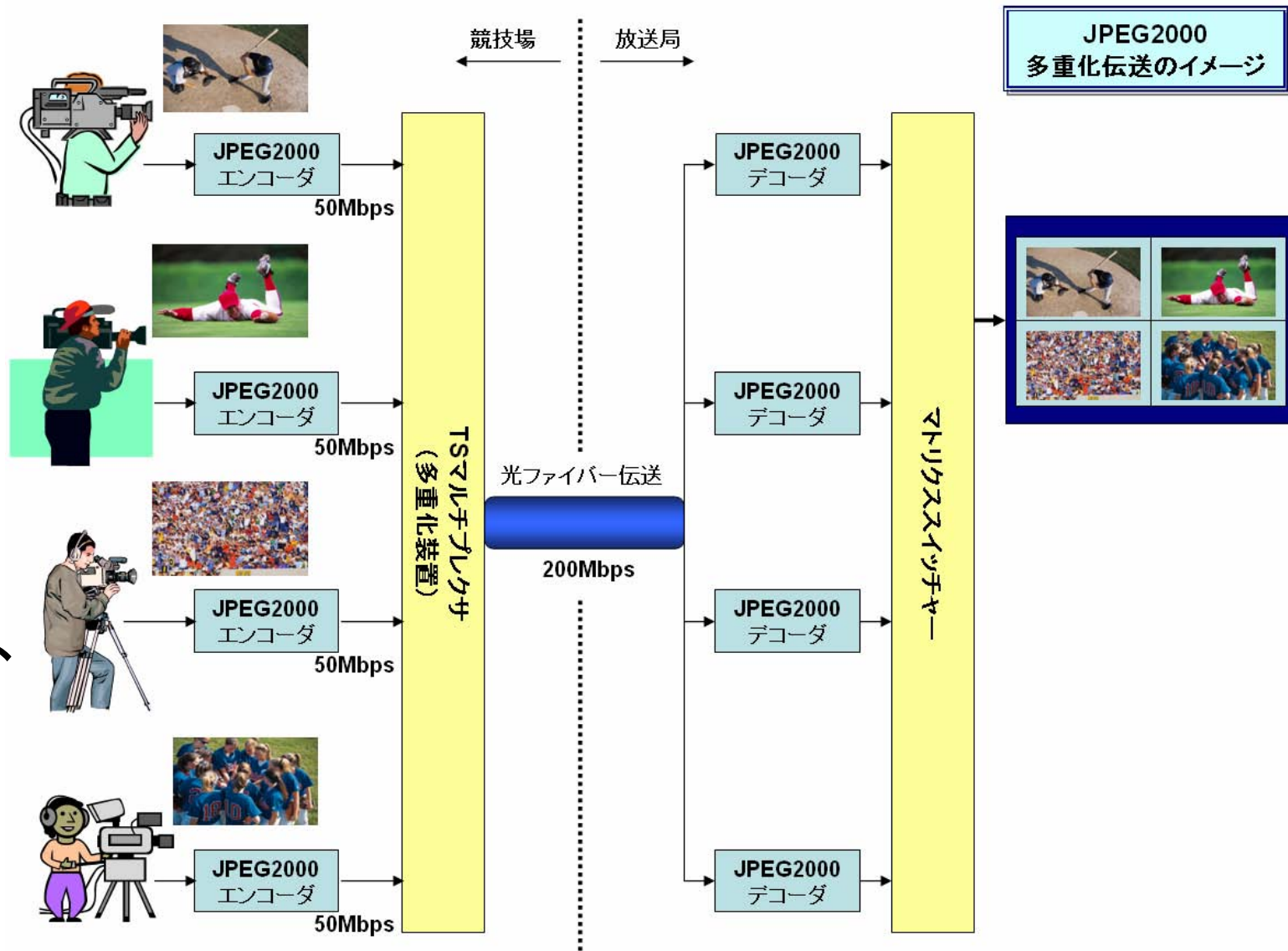
- デジタル放送を支えるサーバを止めないためのソリューション「Total Cluster」に関し、従来は当社コンサルタントが担当する顧客に限定して販売してまいりましたが、今期より外部のシステムインテグレータ企業様への販売も開始します。
- 本拡販に関しては、国内の有カソフトウェアベンダーが結集し、製品の相互連携を行って海外展開および国内ビジネス基盤の強化を図ることを目的に設立された「メイド・イン・ジャパン・ソフトウェア・コンソーシアム(Made in Japan Software Consortium: 以下、MIJS)」へ加盟し、参画しているパッケージソフトベンダー様と協業していっしょに販売する事により、さらなる拡販を目指します。

MIJS : <http://www.mijs.jp/>

JPEG2000による映像多重化伝送



高品位な映像を多重化して複数伝送するニーズが高まっています。当社株主・アストロデザイン(株)様の多重化装置と組み合わせ、新たな市場を開拓します。



デジタルシネマ Hommage の展開



- 映画業界に造詣の深いアクティブ・シネ・クラブ様と協業し、各種映画の上映で利用中。
- 第21回福岡アジア映画祭2007 に協賛予定。映画関係者、監督、プロデューサ等に訴求。
- 映画業界の慣行、商習慣、映画館の経営状況等のこの1年の分析結果を受け、この業種に特化したビジネススキームを業界各社と協業して検討して参ります。



試写会で利用



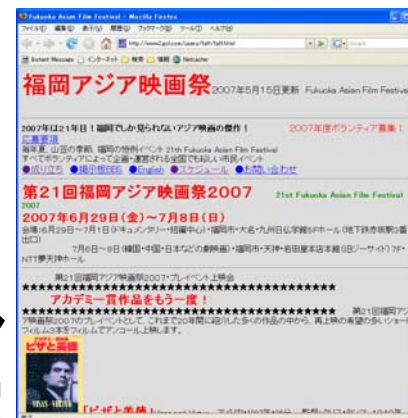
現在、上映で利用中

学校の階段

<http://kaidan.gyao.jp/>

デジタルシネマを
皆様の街へ!

第21回福岡アジア
映画祭に協賛予定



- コア技術と独創的なソリューションをお客様へ -



お客様

コンサルティングサービス

業務ノウハウ

高可用性ソリューション
Total Cluster

デジタルシネマソリューション
Hommage (オマージュ)

画像圧縮ソリューション
JPEG2000

セキュリティソリューション
Decru DataFort

IP電話ソリューション
Brekeke

画像伝送ソリューション
TSシームレススイッチャー

ストレージ統合ソリューション
MaXXan

コンテンツ管理ソリューション
FLIGHT Contents Manager

画像変換ソリューション
スキャンコンバータ

オブジェクト指向開発

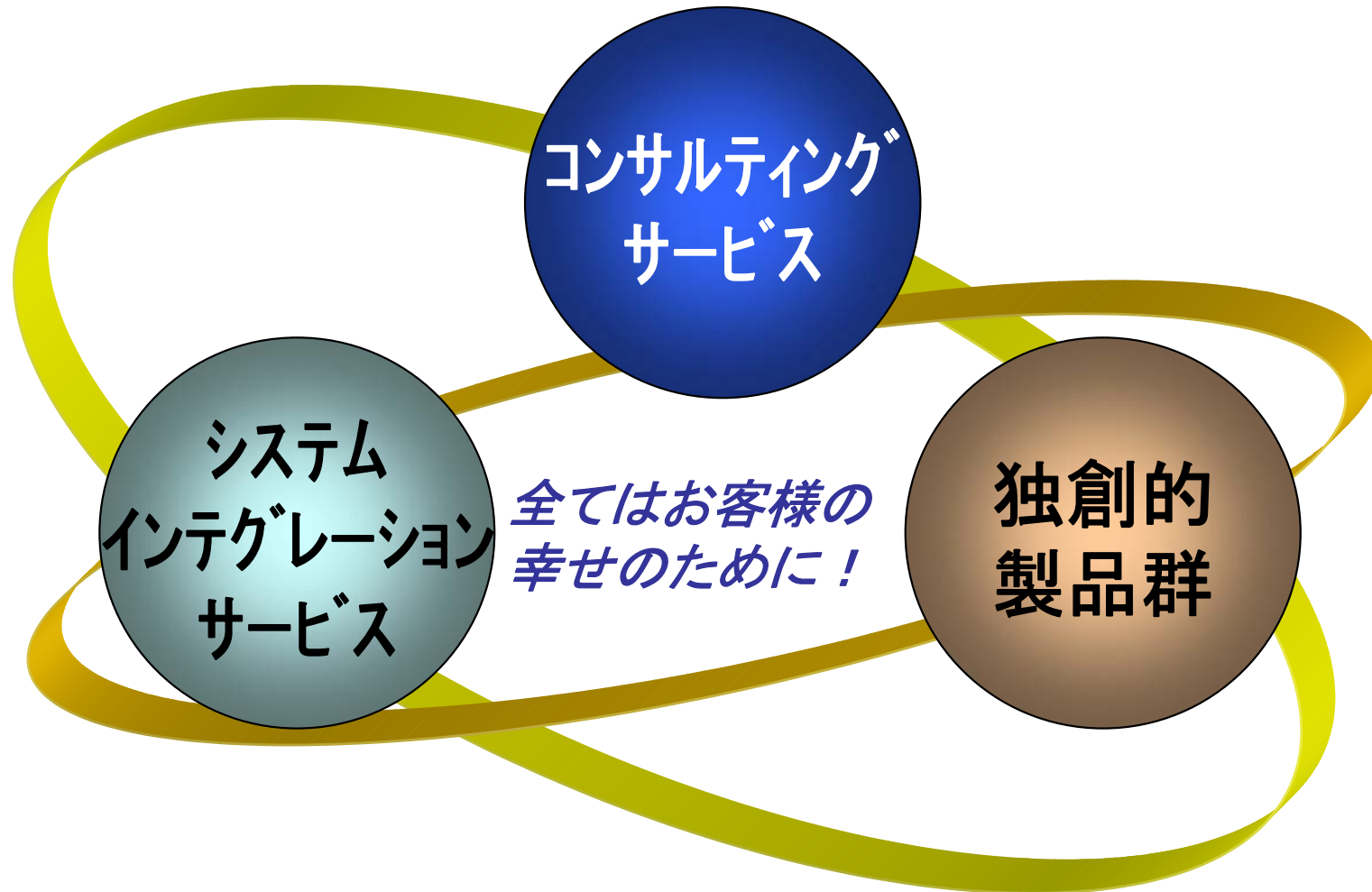
データベース
ネットワーク
オペレーティングシステム

映像

総合力でお客様に幸せを！



テクノロジーカンパニーから
テクノロジーサービスカンパニーへ！



お問い合わせ

- IRならびに本資料に関するお問い合わせ
 - IR責任者: 取締役 松本 隆男
 - IR担当者: 金(こん) 浩樹
 - E-Mail: info@flight.co.jp
 - 電話: 03-3440-6100
 - ホームページ: <http://www.flight.co.jp>

本資料について

本資料は、平成19年3月期決算の業績について情報提供することを目的としたものです。本資料は、平成19年5月18日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載した予測値や情報は、資料作成時点の当社の判断です。情報の正確性、完全性を保障するものではありません。また、今後予告なしに変更することがあります。